

# KIKUCHI PROJECTION SCREEN






## スタンド型ポータブルスクリーン ( K P S - S T ) 取り扱い設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。  
お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い説明書」  
をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、  
損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

### 安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」 内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

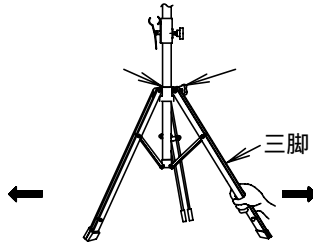
取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

## スクリーンをセットする場合

### スクリーンスタンドを準備します。

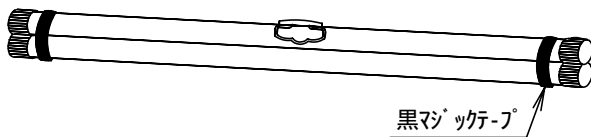
三脚を開きます。

- スクリーンスタンドを持ち上げ、ヒンジのノブネジをゆるめ脚の下側を持って外側へ開いて下さい。
- 三脚が開いたら、ヒンジのノブネジを固定してください。



### パイプ固定用のマジックテープをはずします。

- 上下パイプ固定用のマジックテープ(左右)をはずします。

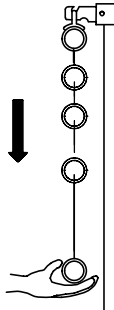


### スクリーンを降ろします。

- 掛軸をかける要領で、下部パイプに巻き付いているスクリーンに手をそえゆっくりと下へ降ろします。



手を添えずに急に離すと、スクリーンを傷つけたりこわしたりすることがあります。



### スクリーンの高さを微調整します。

- プロジェクター本体の設置高さ及び、投影画面サイズに合わせ、適切な高さに調整します。と同じ要領で行って下さい。位置が確定したらスクリーンに平面性を出す為に、パイプホルダー下部をつまみ、軽く押し下げテンションをかけてからノブネジを締めて下さい。



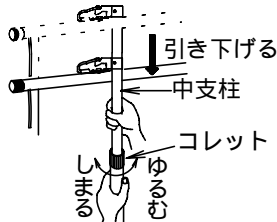
注意

テンションをかけすぎると、スクリーンを破損させる恐れがあります。

## スクリーンを収納する場合

### 支柱を下げます。

- パイプホルダーのノブネジをゆるめてフリーにさせてからきき手で中支柱をしっかりと握り、コレットをゆるめスクリーンを取りはずしやすい任意の高さまで引き下げます。

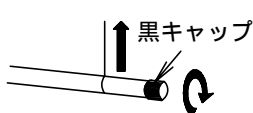


### クランプから下部ハートパイプをはずします。

- クランプのレバーを押して下部ハートパイプをはずします。パイプホルダーは、ハートパイプと接触しない位置(下方20~30cm位)で固定してください。

### スクリーンを巻き上げます。

- 下部ハートパイプの中央部を持って一巻きさせてから片方の手でパイプ端の黒キャップをしっかりと握り強めに巻き上げて下さい。この際もう片方の手では、スクリーン中央部を軽く指先でつまむ程度にしてください。

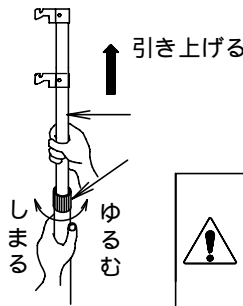


注意

中央部を強く握るとスクリーン表面に傷などが付く恐れがあります。

### 支柱を伸ばす。

- コレットをゆるめ、きき手で中支柱をしっかりと握りあらかじめ決めた高さまで引き上げ、コレットを締めます。



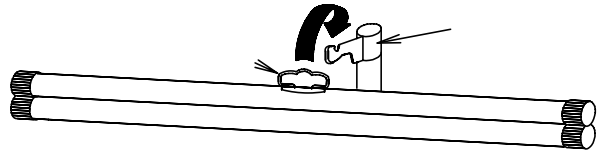
- コレットは締めすぎないでください。



コレットをゆるめる時は、必ずきき手で中支柱をしっかりと握り操作してください。軽く握っていると、中支柱が急激に降下し危険です。

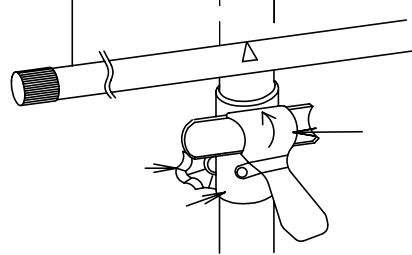
### スクリーンをかけます。

- 片方の手で上下パイプを握り、もう一方の手で吊り金具を持ち、上部吊り金具にかけます。



### 下部ハートパイプをクランプにはさみます。

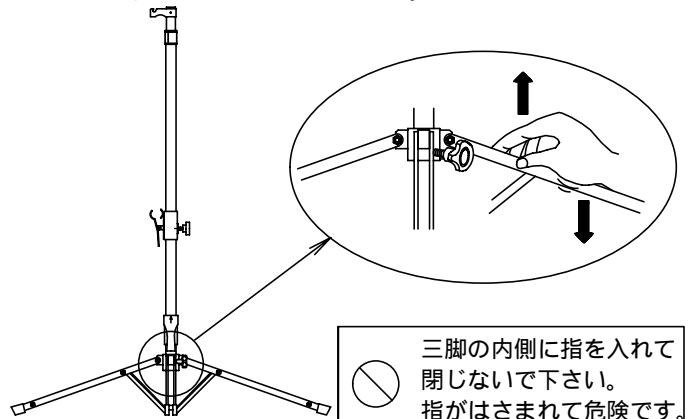
- パイプホルダーのノブネジをゆるめ、クランプのレバーを押して広げ、レバー上部の矢印と下部ハートパイプのセンターマークを合わせて、はさみます。
- 高さ微調整の為、ノブネジはゆるめたままにしてください。



### スクリーンをはずしマジックテープをかけます。

スクリーンをセットする場合の順で行います。スタンドを収納します。

コレットをゆるめ、中支柱を最下端まで下げた後に、再びしめます。脚固定用ノブネジをゆるめ、スタンドを軽く持ち上げ脚の上部の側面を指先で持ち、手の平で押しつけながら上方へ引き上げます。完全に閉じない時は、脚の上部を軽く握って収納させてください。収納しおわりましたら脚固定用ノブネジを軽くしめておいてください。

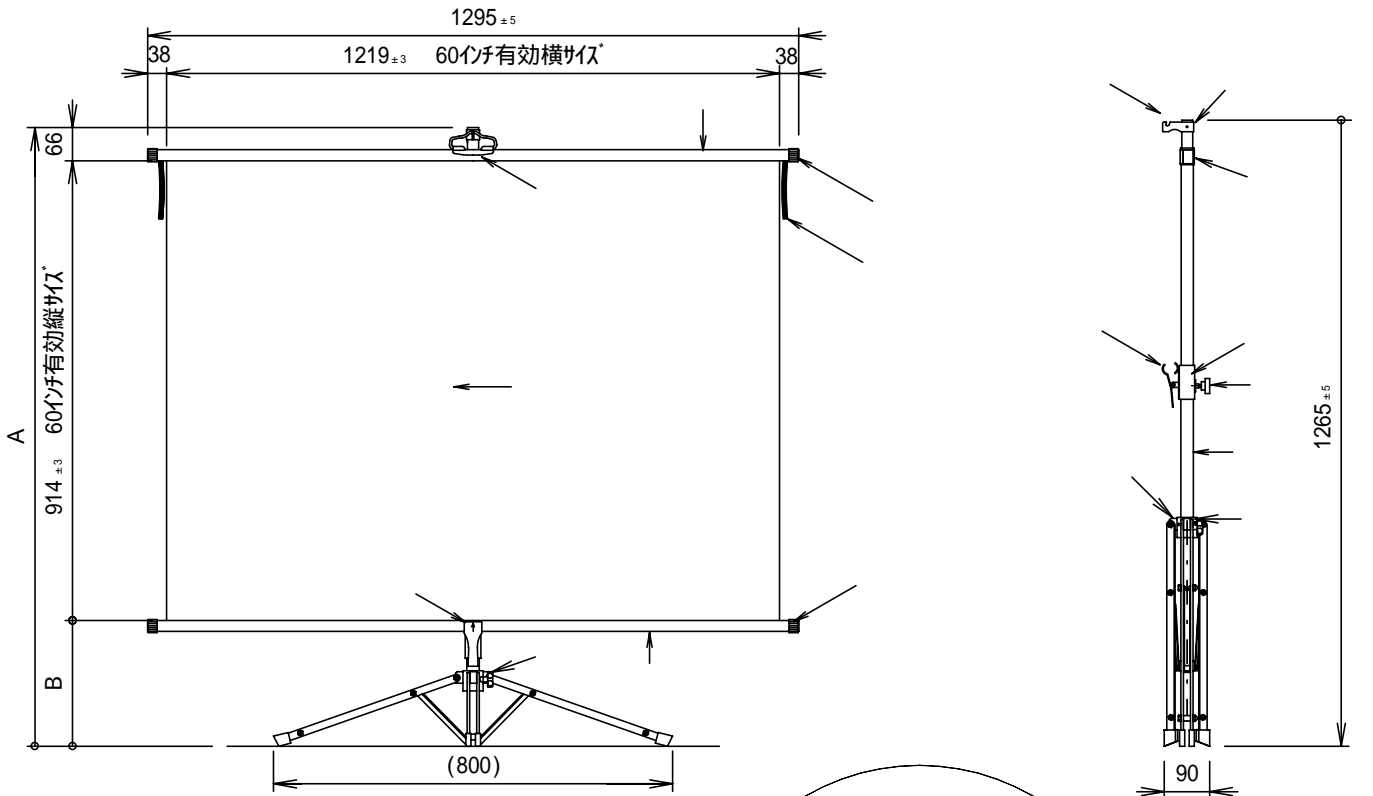


- 三脚の内側に指を入れて閉じないで下さい。指がはさまれて危険です。

### スクリーンの保管

スクリーンの性能及びスタンドの寿命を長く保持する為に、使い終わった場合は必ずビニール袋に入れ、専用ボックス内に収納してください。移動される時も同様に取り扱ってください。

# スタンド型ポータブルスクリーン寸法図



各部名称

スクリーン面	コレット
ハートパイプキャップ	中支柱
上部黒色ハートパイプ	上部吊り金具
吊り金具	脚固定用ノブネジ
下部黒色ハートパイプ	パイプ杭ダマ
マジックテープ	固定用ノブネジ
クランプ	ヒンジ
外支柱	

## スクリーン規格一覧

(スーパーグレインピース生地・ホワイトマットアドバンス生地・グレイマットアドバンス生地)

型番	スクリーンサイズ (W) × (H)	最高位置		最低位置		総重量 = 約4.0 / 3.9			収納ケ-サイズ (外寸) (W) × (H) × (D)
		Amax	Bmax	Amin	Bmin	スクリーン重量	スタンド重量	ケ-重量	
KPS-ST60G KPS-ST60WA KPS-ST60AM	1219 × 914	2010	1030	1230	250	1.68 / 1.56	1.5	0.85	1305 × 185 × 100

単位=mm/kg

## 安全上 ⚠️ ご注意

⚠️ 注意	スクリーンの高さ調整の為、コレットを操作するときは必ず、中支柱をしっかり握ってください。軽く持っている と中支柱が急激に降下し危険です。 スタンドを設置する場合は、平らな所を選んでください。スタンドが傾いていると転倒する危険があります。 屋内に設置する場合は、人が通らない場所を選んで設置し、お子様などが誤って触れないよう充分注意してください。
🚫 禁止	屋外などの風がある場所では、スクリーン面全体に大きな力が加わり転倒する事がありますので、使用しないで ください。
⚠️ 警告	スクリーン及びスタンド収納後は、それぞれ立てかけたまま放置しないでください。転倒する危険があります。



# 注意

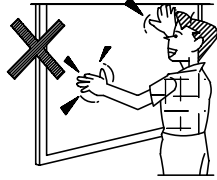
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造になっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なうことがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

## 使用上のご注意

スクリーン面に手をふれないでください。



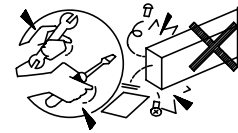
禁止



ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。



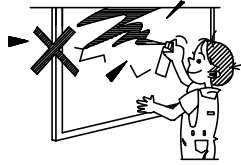
分解禁止



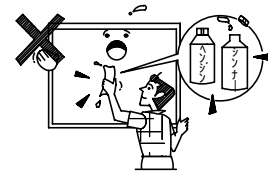
スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



禁止



禁止

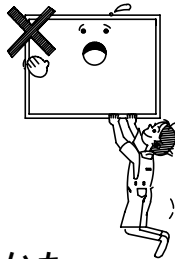


水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。

ケースやスクリーンにぶらさがったりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。



警告

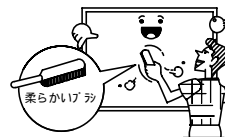


## お手入れのしかた

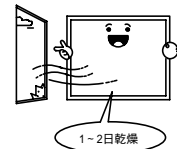
ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



スクリーン表面は出荷前に充分乾燥させていますが、万一接着剤のニオイが強い場合は、窓を開け風通しを良くし、1~2日乾燥させてください。



## 置き場所・保管についてのご注意

直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

KIKUCHI SCIENCE.LAB 2004.10 KPS-ST RW

株式会社 キクチ科学研究所

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35

TEL.(03)3952-5131(代) FAX.(03)3953-0051